

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 リーディングサービス事業費補助金（単補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111（内2608）

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500千円（前年度予算額： 500千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	500	0	0	0	0	0	0	0	500
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

視覚障がい者の読書について、公共図書館と点字図書館との相互協力により膨大な図書を視覚障がい者が利用できるようにし、視覚障がい者の読書範囲の拡大と、文化と教養の増進に対して助成を実施

（2）事業内容

視覚障がい者が希望する図書を県図書館から長期貸し出しを受け音訳を行い、リーディングサービステープとして作成したものを貸出

（3）県負担・補助率の考え方

県 10/10（定額補助）

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	リーディングサービステープ作成費用等に対する助成
合計	500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県障がい者総合支援プラン

(2) 後年度の財政負担

視覚障がい者の福祉向上と自立促進を図るため、県負担は今後も必要

(3) 事業主体及びその妥当性

視覚障がい者の読書範囲を拡大することにより、文化と教養の増進に質する社会福祉法人岐阜アソシアが行うリーディングサービス事業の一部を県が補助することは妥当

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	リーディングサービス事業
補助事業者（団体）	社会福祉法人岐阜アソシア （理由）身体障害者福祉法第34条の規定する点字図書館を運営する法人であるため。
補助事業の概要	（目的）岐阜県図書館の膨大な図書を視覚障がい者が利用できるようにすることによって、読書範囲の拡大を図り、文化と教養の増進を目指す。 （内容）岐阜県図書館の図書を視覚障がい者向けに音訳する事業に助成。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	視覚障がい者の読書範囲の拡大と文化と教養の増進。
終期の設定	終期5年度 （理由）第3期岐阜県障がい者総合支援プランの周期に合わせ、事業継続を検討する。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>岐阜県図書館の膨大な図書を視覚障がい者が利用できるようにすることによって、読書範囲の拡大を図り、文化と教養の増進を目指す。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
		実績	目標	目標	(R5)	達成率
① 録音図書完成数 (単位：タイトル)	/	89	150	150	150	59.3%
② デジタル録音図書完成数 (単位：タイトル)	/	89	100	100	100	89%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	500千円	500千円	500千円

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 録音図書完成数 89タイトル 114巻 デジタル録音図書 89タイトル (MDによる編集も含む) 相互貸借の状況 録音図書 借受:158タイトル 貸出:136タイトル DAISY 図書 借受:5,874タイトル 貸出:1,312タイトル 目録配布 約750部/毎月
	指標① 目標:150 実績:89 達成率:59.2%
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標:_____ 実績:_____ 達成率:____%
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標:_____ 実績:_____ 達成率:____%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	<p>岐阜県図書館と視覚障害者生活情報センターぎふが相互協力により、全国に先駆けて実施した事業であり、視覚障がい者の読書範囲の拡大と教養の向上に貢献してきた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり (単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2:期待どおりの成果あり (単年度目標100%達成) 1:期待どおりの成果が得られていない (単年度目標50~100%) 0:ほとんど成果が得られていない (単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	<p>各年度により、録音図書及びデジタル録音図書に作成数にばらつきはあるものの、毎年一定以上の作成がされている。また、ボランティアの養成にも取組み、作成数の増加を図っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	<p>全国ネットワークに参加することにより、他館で作製されたものを利用でき、効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 継続的に作製し、貸出数を増やす必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

視覚障がい者のニーズを把握し、リーディングサービス事業の活動を行う。